

地誌学概論 I ／地誌 I

地誌 I

Introduction to Topography I

ARAHATA Takashi

荒畑 隆

■授業の目的

グローバル化する現代社会において、世界諸地域の自然環境や歴史的背景・文化を知ることは、これからますます重要になる。「地誌」は地域像を理解する手がかりとなるので、世界各地域の基礎的知識・教養を身につけることを目指す。

■授業の到達目標

メンタルマップで、世界地図をおおまかに描け、その中に学んだ事象を記入し、各地域の特徴を把握できていること。さまざまな地域の国と我が国を比較し、共通性や特殊性を認識するとともに、国際理解に資する。

■授業計画

- 1 世界の自然環境
メンタルマップを描き、地理的事象を記入させる。世界の大地形、世界の気候区分の概要を学ぶ。
- 2 世界の人文環境 I
世界の農牧業、世界の鉱工業、サービス産業など多様な経済活動に関する基礎的知識を把握する。
- 3 世界の人文環境 II
人種・民族・言語・宗教など世界の多様性の理解。各地でみられた人種問題、おもな民族問題の整理を行う。言語・宗教に関する各地域の問題を調べまとめる。
- 4 東アジア I
アジアの地形と気候。日本の地形と気候の概要を整理する。日本の東西文化の相違性。少子高齢化・社会環境問題。日本の領土問題。
- 5 東アジア II
大韓民国の地誌（分断国家・朝鮮半島の自然・韓国人びとの暮らし）、工業化が著しい韓国。中華人民共和国の自然環境。多民族からなる中国と行政区画。
- 6 東アジア III
中国社会の変化（一人っ子政策とその変化、人民公社から生産責任性へ）。中国の農業地域、発展する沿海地域。中国辺境部（雲南省）。現代中国の課題。
- 7 東アジア IV
台湾（地形、民族、食文化）。モンゴル（民族と歴史、自然と遊牧、首都・観光立国を目指すモンゴル）。
- 8 東南アジア I
東南アジアの多様性（地勢・自然、歴史的背景）。タイ（自然と民族・文化、プライメートシティの代表、バンコクの都市問題）ミャンマー（自然、近年の発展、人びとの暮らし、ロヒンギヤ問題）。
- 9 東南アジア II
マレーシア（自然、プランテーションの変化、多民族社会の形成と多宗教の国、新行政首都プトラジャヤ）。シンガポール（都市国家の発展、華人社会の特色と変容）。
- 10 東南アジア III
インドネシア（島嶼国家の自然環境、人口過密なジャワ、複合民族国家と宗教、豊かなプランテーション農業、石油から石炭へ）。東南アジアの環境問題（失われるマングローブ林、エビ養殖池の転換）。
- 11 南アジア・西アジア I
南アジアの言語と宗教。インド（地形と気候、ヒンドゥー教とカースト制度、期待される農業と農業開発、産業）。
- 12 南アジア・西アジア II
インド（特色ある州・都市、南北の格差）、世界に広がるインド人移民。スリランカ（自然環境、シンハラ人とタミル人）。西アジア（民族と文化、イスラムの生活、オアシス農業、石油大国の光と影）。
- 13 アフリカ I
アフリカの地形と気候（広大な砂漠と地溝帯、熱帯と乾燥帯の大陸）。アフリカの農業（タンザニアにおける農村調査、ケニアのプランテーションと観光、ガーナにおけるカカオ栽培）。
- 14 アフリカ II
植民地支配の傷跡（多民族国家ナイジェリア、ルワンダ内戦、ソマリア、ダルフール紛争）。南アフリカ共和国（先住民、植民地のから独立、アパルトヘイトの廃止）。南スーダン共和国。希望の大陸アフリカ。
- 15 前期地誌のまとめ
世界の大地形、世界の気候区分、東アジア、東南アジア、南アジア・西アジア、アフリカ地誌の整理と演習。

■授業の方法

資料を書画カメラや PC を使用しながら、各回のプリント演習をベースに進めていく。各回毎に小テスト（記述式）で知識の定着化を図る。メンタルマップの作成や作業学習で自発的な学習展開を行う。

■予習・復習

教科書の内容を予め読んでおくことを求め、知識・理解・判断を求める内容を含む作業的プリントの予習を求める。各地域の地誌を学ぶうえで重要な基礎的知識については小テストで確認していく。

■成績評価の方法

作業プリントの取り組み状況をチェックし、日常の小テストの出来を評価（20%）に入れる。メンタルマップの提出により地理的事象がそこにどれだけ反映しているかを見る（10%）。前・後期テスト（70%）。

■教科書・参考書

教科書 図説 世界地誌【改訂版】辰巳 勝・眞知子著（古今書院）
参考書 新詳高等地図（帝国書院）